

check 確認しておこう！
申し込み手続き

利用する施設によって手続きが異なります

入園後に「送迎が困難だった」「保育内容が合わない」などといったことがないよう、お子さんを連れての事前見学をおすすめします。見学を希望する際は、各施設へ直接連絡してください。
なお、年度途中での転園はできません。

幼稚園、認定こども園 (1号認定)		保育園、認定こども園、地域型保育施設 (2号・3号認定)
申し込み受け付け中 ※事前見学や説明会については、各園に直接問い合わせてください。	申込期間	・1次 10月1日(水)～10月31日(金) ・2次 11月4日(火)～来々1月7日(水)
・入園申込書 ・申請する保護者の個人番号が確認できる書類 ・身分証明書	必要書類	・入園申込書 ・重要事項チェックシート ・保育の必要性を証明する書類* ・申請する保護者の個人番号が確認できる書類 ・身分証明書 ※事由によって必要書類が異なります。
各幼稚園、各認定こども園	配布場所 申込場所	☒保育課、☒子育て支援課給付係本庁舎担当 ☒市民課塩原庁舎担当、箒根出張所 ※申し込みに必要な書類は市ホームページからもダウンロードできます。
<p>①幼稚園などに直接利用申し込み</p> <p>②幼稚園などから入園の内定を受ける</p> <p>③幼稚園などを通じて市に認定の申請</p> <p>④幼稚園などを通じて市から認定証を交付</p> <p>⑤幼稚園などに入園の手続き</p>	申し込み 手続き	<p>①市に「保育の必要性」の認定と保育園などの利用希望を申し込み</p> <p>②市から認定証を交付</p> <p>③希望や施設の空き状況により市が利用調整</p> <p>④利用先決定後、入園の手続き</p>
手続き完了		

check 必要です！
保育が必要な理由

いずれかに該当する場合、2号または3号認定が受けられます

- ①月48時間以上の就労
- ②産前産後
- ③保護者の疾病・負傷・障害
- ④同居親族の介護
- ⑤災害復旧
- ⑥求職活動中
- ⑦就学・職業訓練

check 確認しておこう！
次の場合には・・・

該当する人は次の点に注意してください

- 来年度途中の入園を希望する人
来年度の途中で保護者の産休・育休期間が終わり、その時点からの入園を希望する場合も、期間内に申し込みが可能です。
- 出産予定がある人
申し込み時点で妊娠中の人は、申し込みが可能です。

2号・3号
認定

10月1日
受付開始

保育園
認定こども園
地域型保育施設 令和8年度園児募集



▶問い合わせ 園保育課 ☎0287(46)5536

check 知っておこう！
施設や認定区分

いろいろな施設の種類の認定区分があるけど、どう違うの？

	保育園	幼稚園	認定こども園	地域型保育施設
特徴	就労などのため、家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設	小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行う施設	幼稚園と保育園の機能や特長を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設	19人以下の少人数で子どもを保育する施設
年齢	0歳児～小学校就学前 (2、3号認定)	満3歳児～小学校就学前 (1号認定)	0歳児～小学校就学前 (1、2、3号認定)	0歳児～2歳児 (3号認定)
時間	夕方までの保育のほか、園により延長保育を実施している。土曜の利用も可能。	昼過ぎごろまでの教育時間に加えて、園により午後や土曜、夏休みなどの長期休業中の預かり保育などを実施している。	(2、3号認定の場合) 夕方までの保育のほか、園により延長保育を実施している。土曜の利用も可能。 (1号認定の場合) 昼過ぎごろまでの教育時間に加えて、園により預かり保育を実施している。	夕方までの保育のほか、施設により延長保育を実施。土曜の利用も可能。

認定区分	対象	1日の教育・保育時間	利用できる施設
1号認定	満3歳以上で、 昼間、教育のみ を必要とする子ども	4時間	幼稚園、認定こども園
2号認定	満3歳以上で、 朝夕も含めた保育 を必要とする子ども	11時間または8時間	保育園、認定こども園
3号認定	満3歳未満で、 朝夕も含めた保育 を必要とする子ども		保育園、認定こども園、地域型保育施設

教えてみるひい

???



各保育園・認定こども園・地域型保育施設の詳しい情報は、こちらを確認！

Q.公立と私立の保育園の違いはありますか？

A.保育料は、公立・私立とも同じです。施設ごとに特色がありますので、申し込みの前に見学をおすすめします。

Q.保育料以外にどのような経費がかかりますか？

A.用品購入費や保護者会費などががかかります。施設ごとに異なりますので、詳細は各施設に確認してください。

Q.保育料が無償になるのはどんな人ですか？

A.3～5歳*の子どもは保育料が無料です。0～2歳までの住民税非課税世帯の子どもの保育料は原則無料になります。また、おおむね18歳未満の子どもを2人以上養育している(原則、住民票上も同一世帯で、生計を共にしている)世帯では、第2子以降の利用者負担額が免除されます。
*18歳を超えていても保護者が扶養している大学生など(転出者含む)については、22歳までを第1子として算定を行います。保育料は入園決定後に計算し、保護者へ通知します。
※3～5歳とは、満3歳になった後の4月1日から小学校入学前までの3年間です。